

○森林経営規程例第4条第2項に規定する森林経営長期事業計画の様式例について

〔平成29年3月31日28林政経第355号
林野庁林政部経営課長〕
最終改正：令和3年3月29日 2林政経第502号

この度、「森林経営規程例の制定について」（平成29年3月29日付け林政経第325号林野庁長官通知）により、森林経営規程例が定められたところであるが、同規程例第4条第2項に規定する森林経営長期事業計画の様式例を別紙のとおり定めたので、各都道府県森林組合連合会及び森林組合に周知するとともに、森林経営事業の指導にあたり参考とされたい。

森林経営長期事業計画

団体名 〇〇〇〇森林組合

森林経営規程第〇条第〇項に定める森林経営長期事業計画について、次のとおり定める。

I. 全体計画

1. 森林の経営に関する長期の方針

(1) 森林経営の方針

【記載例】

- ・当組合が行う森林経営事業は、〇〇県〇〇市の森林を対象とし、森林面積〇〇haの内、人工林面積は〇〇haを占めており、人工林率〇〇%である。
- ・樹種は、スギ人工林が全面積の〇%を占め最も多く、以下、ヒノキ人工林〇%、アカマツ人工林〇%、その他広葉樹林〇%となっており、10～12 齢級の成熟段階の森林の割合が高くなっている。
- ・当組合では組合員の所有森林を中心とした森林施業の集約化に積極的に取り組んでおり、毎年安定した木材生産を実施していることから、森林経営事業を実施することにより、森林施業の集約化が更に促進され、より効率的で安定的な木材生産が期待される。
- ・対象森林は〇〇川の上流に位置し、〇〇市森林整備計画において水源涵養機能維持増進森林として位置付けられており、木材生産機能と公益的機能の調和のとれた施業の推進が必要な地域である。
- ・木材資源の有効利用により林業を行う組合員の利益の向上に資するよう取り組むとともに、森林資源の保続培養、環境への配慮を図り、対象森林の持続的な森林経営に取り組む。

(2) 目標とする森林の姿とそれに向けた森林施業及び保護の方針

【記載例】

- ・人工林については適正な間伐を繰り返し行い、胸高直径〇cm、ha 当たり〇本となるよう誘導し、〇年生を目処に主伐を行う。
- ・主伐後の再生林に関しては、伐採・地拵・植栽の一貫作業の実施、コンテナ苗の活用等による低コスト化を図りながら、確実な更新を行う。
- ・急傾斜の森林又は林地生産力の低い森林については、主伐は当面見合わせるものとし、広葉樹の混交度合いや周辺の森林の状況に応じて、択伐等により針広混交林や広葉樹林への誘導を図る。
- ・天然林については、原則として拡大造林は行わず、適正な保護に努める。

【記載に当たっての留意事項】

※目標林型、立木密度、想定伐期等、森林の育成方針について記載

2. 森林の取得に関する基本的な方針

【記載例1】

- ・事業対象森林の総面積が〇〇ha に達するまで取得することとし、以下の条件の全てを満たす森林に限り取得する。なお、分収林の設定を新たに行う予定はない。

ア 10年以内に主伐が見込まれる森林

イ 既設の林道または作業道等から概ね150m以内の森林

ウ 取得に係るha当たりの対価が〇〇万円を超えないこと

【記載例2】

- ・当組合が行う森林経営事業は分収林を基本として行うこととし、総面積〇〇ha に達するまで分収林の設定を行う。

【記載例3】

- ・本計画に記載した森林以外の取得予定はない。

【記載に当たっての留意事項】

※森林を取得する際の基準について記載（この方針内での取得については、取得時に臨時総会での決議は原則不要。）

3. 資金に関する計画

※金融機関から借入れを行っている場合のみ返済計画を記載

4. 備考（特記事項）

Ⅱ. 個別計画（施業団地ごとに記載）

計画 No. 1

1. 計画期間

○年～○年（○年間）

※計画期間は概ね10～25年の間で任意設定。

2. 事業対象森林の位置及び資源状況

所在地 (市町村・字・地番)	林小班	森林の現況				
		林種	樹種	面積(ha)	林齢	材積(m ³)

※計画対象地について記載する。（別紙可）

3. 施業に関する基本的な計画

【記載例】 ※計画期間内に行う施業の内容を記載。

- ・若齢級のため、当面は切捨間伐にて成林を目指す。
- ・○年を目処に利用間伐を実施し、木材販売による収入確保を目指す。
- ・○年を目処に主伐を実施することとし、主伐後には少花粉スギ（コンテナ苗）を ha 当たり○本程度植栽する。なお、伐採・地拵・植栽については一貫作業で実施し、低コスト化を図る。
- ・植栽後は、○年間を目処に下刈りを行う。

4. 長期的な収支に関する計画（見込み）

【記載例】

- ・本計画の期間合計で事業収支が 2,100 千円となることを目標に、適切な事業運営を行う。

（単位：千円）

年度	種目	収入	支出	補助金	収支	備考
2017(H29)年	山林購入		1,000		-1,000	
2018(H30)年	利用間伐	800	900	500	400	
2026(H38)年	主伐	10,000	6,000		4,000	
2026(H38)年	再造林		3,800	3,000	-800	
2027(H39)年	下刈り		500	400	-100	
2028(H40)年	下刈り		500	400	-100	
2029(H41)年	下刈り		500	400	-100	
2030(H42)年	下刈り		500	400	-100	
2031(H43)年	下刈り		500	400	-100	
期間合計		10,800	14,200	5,500	2,100	

5. 備考（特記事項）